

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①自己肯定感を高める学習活動と教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を実現するための教育課程編成に取り組む。</p> <p>②「わかった・できた・つながった」を生徒が実感できる評価・授業の在り方の再整備を進める。</p>	<p>①主体的に学習に取り組む態度を育む授業を検討し、共有する。</p> <p>②自己肯定感を育み、学校目標に掲げる資質・能力の育成について実践を進める。</p>	<p>①学習目標設定や振り返りを重ねながら、学びに向かう力・姿勢の見取り方について、授業見学や研修会で共有し、実践を進める。</p> <p>②「わかった・できた・つながった」を生徒が実感し、学びを活用して他者と協働しながら学習を進める授業の実践を進め、共有する。</p>	<p>①生徒の学習内容の質や主体的に学習に取り組む態度が向上し、学びに向かう力・姿勢について教員の理解が深まったか。</p> <p>②学校目標で掲げられている資質・能力につながる視点を持った授業を共有できたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①生徒の規範意識を定着させ、社会の一員としての自覚と自己有用感を涵養する。</p> <p>②「かかわる・寄り添う・見守る」教育支援体制により、生徒が自己の課題に気づき、その解決に向けて行動(相談)する力を育む。</p> <p>③学校行事や部活動等を通して、生徒の社会性を育み、豊かな人間関係を構築する力を育む。</p>	<p>①豊かな社会性の育成を推進し、自己の課題の解決のため、専門性を生かした支援、チームとしての取り組みを行う。</p> <p>②学校行事や部活動を通して、生徒が主体的に活動できるよう環境を整え活性化を図る。</p>	<p>①生徒の課題を的確に把握し、SC、SSC、外部機関を活用しながら相談室を運営し、組織的支援体制を構築する。</p> <p>②生徒の自主的な活動を重んじ、充実し満足感が得られる環境作りを進める。</p>	<p>①問題行動の様態が改善できたか。不登校生徒が10%程度減少できたか。</p> <p>②生徒会執行部やフロンティアチームが主体的に学校運営に携わることができたか。入部後の継続率が90%維持することができたか。</p>					
3 進路指導・支援	<p>○社会生活実践力を育成し、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。</p>	<p>①自己理解を深めるとともに、他者への理解も深めることを通して生徒が自己の役割や責任を認識し、社会とつながり生きる力を身につけるための支援を行う。</p>	<p>①「総合的な探究の時間」を中心とした学習活動や様々な体験活動を通して、社会や職業、働くことの意味などに対する理解を深めさせる。</p>	<p>①各年次において「総合的な探究の時間」を中心としたキャリア教育プログラムを計画的に実施することができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		②生徒が主体的に将来を考え、個々の関心や能力、適性に応じた進路を実現するための支援を行う。	②生徒一人ひとりの進路実現のために、個別面談やガイダンス等とおして適切な情報を提供する。	②生徒のニーズに合った情報提供を、適切な時期に行うことができたか。					
4 地域等との協働	①地域や外部の諸機関等との連携を図り、地域とともに学びあう教育活動・学校運営を行う。 ②教科指導等における連携・協働を積極的に推進し、生徒の成長の見守りと学校に対する理解と信頼を深める。	①生徒が充実した学校生活を送れるよう、生徒のニーズに対応する外部機関との連携を図る。 ②地域や外部機関との連携を図り、「社会とつながる」ことを重視した教育活動の充実を図る。	①各年次団と関連グループとが連携して、生徒が外部機関を利用できる環境を整える。 ②地域や外部機関の人材を活用した教育活動を展開することにより、生徒の成長を促す。	①支援が必要な生徒やその保護者が外部機関とつながり、利用することができたか。 ②「社会とつながる意識」を持たせる教育活動に取り組むことができたか。					
5 学校管理 学校運営	①生徒の安全と教育環境を確保し、耐震工事への対応と新校舎の効果的な使用方法を策定する。 ②地域と協働した防災体制づくりと防災教育を推進する。 ③事故不祥事防止を推進し、学校に対する信頼を深める。 ④教員のワークライフバランスを推進するとともに生徒と向き合う時間を確保するため組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①生徒の学習環境を整える。 ②校内の防災意識を高める。 ③④不祥事の根絶を意識した職員の連携と校務の効率化を図る。	①体育館改修を安全に進め、生徒の活動場所やICT利活用の環境整備を整え、効果的な活用方法の共有化を図る。 ②防災意識を高めるために、防災体制の見直しおよび周知徹底のための職員研修会を実施する。 ③④Teams を活用した情報共有と研修を計画する。	①体育館改修中に生徒の活動が安全に行えたか。一年次生徒の一人一台端末の支援をすることができたか。ICT機器の利活用についての情報を共有することができたか。 ②防災に関する研修会を実施することができたか。 ③④情報共有が進み不祥事防止につながったか。					